

三心を磨く

学校だより No. 2

令和 5 年 5 月 12 日 (金) 発行

須坂市立東中学校

文責： (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇◇◇ 5月10日の校長講話より ◇◇◇ 久しぶりに全校が体育館に集って行われました。

今日は、「かけがえのないもの」という話をしたいと思います。時間、人生、限られているものです。ずっと生きることができません。みんな与えられた時間しか生きていくことができません。時間というものは、イコール命なのかなというふうに最近考えています。どう生きるか？どう生きたいか？ということは、時間をどのように使うのかということだと思います。

時間の使い方には3つあると思います。自分のために使う、人のために使う、社会のために使う。3つの使い方のバランスで、人が評価されるのかとも思います。

皆さんよく知っている大谷翔平選手。活躍してますよね。彼が、これまでどのように時間を使ってきたのか話したいと思います。

2年前の流行語大賞で、彼にかかわる言葉が2つ入りました。「リアル二刀流」「ショータイム」という言葉。「二刀流」は、投げる(投手)・打つ(打者)、両方の役割をこなすことです。ショータイム、大谷選手が出場すると、すごいプレーが見られる時間になるという言葉。アメリカで流行しました。観客もみんな立ち上がり、期待して喜んで。看板まで掲げられました。

高校一年生、花巻東高校に入学したばかりの時、彼は「プロ野球選手になる」という目標を作りました。真ん中、プロ球団から1位指名されたい。しかも8球団から指名されたいという目標を作りました。実際にはメジャーに行くと言っていたので、指名したのは1球団だけでしたが、1位指名で入団しました。

その目標を達成するための目標を8個(体づくり、コントロール、キレ、スピード160km/h、メンタル、人間性、変化球、運)作り、この8個の目標について、さらに詳しく目標を作りました。「運」について見ると部屋そうじ、審判さんへの態度、本を読む、応援される人間になる、プラス思考、これをやることで運が高まると考えて、これに時間を使いました。大谷選手はゴミが落ちていると「ああ、神様が自分を試している」と思うそうです。

ゴミを拾うと、きっといいことがある。そう思って今でも続けているそうです。挨拶とかゴミ拾いは、自分のために時間を使っているのだけど、結局は人のため、社会のためにも時間を作っていたんだと思います。プロ野球選手になるために、小さな目標を8×8=64個作り、その目標に向け自分の時間を使おうと努力しました。その結果、プロ野球選手になりました。日本ハムファイターズに入団して、ここま



